

コースコード：RH-RH442

税抜価格：320,000円

日数：4日間

前提条件

・RHCE認定または、同等のスキルレベルをお持ちであること・適切なスキルセットの知識を持っているかどうか分からない場合は、オンラインスキルチェックで確認してください

受講対象者

Linuxシステム管理者の経験があり、リソース使用率最大化のためのパフォーマンスチューニングを担当している方

コース概要

このコースでは、Linux上級システム管理者を対象に、Red Hat Enterprise Linuxの パフォーマンスチューニングの方法について説明します。

このコースを修了すると、エキスパート試験

パフォーマンスチューニング(EX442) を受ける準備が整います。

目的

システムアーキテクチャについて学習するこのコースでは、以下の項目について学習します。

- ・システムアーキテクチャがパフォーマンスに及ぼす影響
- ・パフォーマンス調整の効果をテストする方法
- ・オープンソースのベンチマーキングユーティリティ
- ・システムとネットワークのパフォーマンス分析方法
- ・特定のアプリケーション負荷に対するチューニング設定

アウトライン

1. パフォーマンスチューニングの概要

パフォーマンスチューニングおよび分析の基本原則の理解

2. データの収集、グラフ化、解釈

基本的な分析ツールの使用とデータ評価スキルの獲得



3. 一般的なチューニング

システムのチューニングに使用する基本的なチューニング理論およびメカニズムについての学習

4. ハードウェアのプロファイリング

ハードウェアの理解と分析

5. ソフトウェアのプロファイリング

アプリケーションの CPU およびメモリーパフォーマンスの分析

6. メールサーバーのチューニング

メールサーバーを例にストレージの基本的なチューニングの学習

7. サイズの大きいメモリーワークロードのチューニング

メモリー管理とチューニングの理解

8. HPC ワークロードのチューニング

CPU 主体アプリケーションのチューニングの理解

9. ファイルサーバーのチューニング

ファイルサーバーアプリケーションに関連するストレージおよびネットワークのチューニングの理解

10. データベースサーバーのチューニング

データベースアプリケーションを例にメモリーおよびネットワークパフォーマンスのチューニング

11. 電力消費のチューニング

電力消費を念頭に置いたシステムのチューニング

12. 仮想化のチューニング

効率的な仮想化のための「ホスト」と「ゲスト」のチューニング